

平成 21 年 4 月 13 日現在

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009

課題番号：18520560

研究課題名（和文）アメリカ合衆国における優生学と人種秩序の歴史的考察
—異人種間結婚禁止法と断種法研究課題名（英文）Historical Research on the Eugenics movement and the Racial Order
in the United States: Anti-Miscegenation Laws and Sterilization Laws

研究代表者

貴堂 嘉之（KIDO YOSHIYUKI）

一橋大学・大学院社会学研究科・准教授

研究者番号：70262095

研究分野：西洋史

科研費の分科・細目：3104

キーワード：人種、優生学、断種、ジェンダー、セクシュアリティ、国民化、公衆衛生、混血

1. 研究計画の概要

本研究の目的は、アメリカ合衆国の優生学運動を歴史的に検証し、それがアメリカ社会の人種秩序の構築といかなる関係にあったのかを問い直すことにある。これまでに進められてきた研究は特定の地域に限定された断片的なものであったので、それらを総合してアメリカにおける優生思想の隆盛がもたらした、異人種間結婚禁止法や断種法の法体系の確立の過程とその意義を問い直すものである。また、近年の研究では、アメリカの優生学運動が国際的な優生学運動と連動していたことが明らかになってきているので、そのような視点から、国際優生学会議との関係や、ナチス・ドイツの優生学との関係性を実証的に問い直すことを目的としている。

2. 研究の進捗状況

(1)4 ヶ年計画の初年度にあたる平成 18 年度は、優生学運動研究にとって象徴的な存在であるポーランドのアウシュビッツ・ビルケナウ強制収容所などの史跡を訪問することから始めた。ポーランド、ドイツ、イギリスの公文書館で関連資料の収集につとめ、20 世紀前半に、アメリカ合衆国の優生学者やその影響を強く受けた政治家が、ドイツの政治家や科学者といかなる接点をもっていたのかを調査し、またドイツにおける優生立法、遺伝、断種、結婚に関わる法律と、アメリカにおける異人種間結婚禁止法、断種法などを比較し、その相互の連関を検証した。

(2)二年目の平成 19 年度には、アメリカ合衆国の三都市（パークレー、ロサンゼルス、ニューヨーク）の図書館、文書館をめぐり、合

衆国の異人種間混交に関わる法制度分析の基礎史料や優生学運動に関する一次史料を集めた。これらの調査をもとに、論文「移民国家アメリカの「国民」管理の技法と「生一権力」—人種主義と優生学—」を発表し、アメリカ合衆国の革新主義期の社会運動や社会政策を、「生一権力」の観点から整理し、優生学的知を柱とする運動として歴史的に再解釈した。

(3)三年目にあたる平成 20 年度にも、アメリカ合衆国の東海岸での調査を実施し、断種法やアメリカ優生学運動の拠点であるコールド・スプリング・ハーバーに関する史料を重点的に集めた。歴史学研究会や国際シンポジウムでもこの優生学や人種秩序に関する研究成果を発表する機会をえた。

(4)以上の 3 年間の研究により、全米各州の優生学運動の展開過程、異人種間結婚禁止法や断種法の立法過程などについての理解が深まってきており、アメリカ史の人種論やジェンダー史にも新たな知見を付け加えることができるものと思っている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

（理由）

この三年間で、三度の海外調査を含め史資料の収集ができたことで、優生学立法の体系的な理解に不可欠な資料が集まりつつある。しかし、当初、掲げたアメリカの全州での異人種間結婚禁止法や断種法の制定・撤廃の過程を詳細に調べ上げることは四年間の研究では限界があり、カリフォルニアやヴァージニアなど、運動が盛んで断種手術数の多い地域や大規模な優生学施設を重点的に検証する

方向でまとめざるをえないのが現状である。

4. 今後の研究の推進方策

3に記した通り、4年間の研究では達成できない部分もあるので、ここまでの成果は本年度、基礎的な法文などの史料や優生学運動の概論的な総括を行うものの、次年度以降もこのテーマをより深化させる必要があるため、新規に科研費申請を行い、研究を推進する方向で検討している。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 1 件)

① 貴堂嘉之、「人種化」の近代とアメリカ合衆国—ソシアビリテの交錯と「国民」の境界—『歴史学研究』通巻 846 号, 2008, 90-99 頁、査読なし。

[学会発表] (計 3 件)

① 貴堂嘉之、「人種化の近代」とアメリカ合衆国—ソシアビリテの交錯と「国民」の境界—, 歴史学研究会 近代史部会「分類のポリテイクス—近代的「人種」の再検討」, 2008.5.18, 早稲田大学

② 貴堂嘉之、The 12th Kyoto University International Symposium: Transforming Racial Images -Analyses of Representations, 2008.12.6, 京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール

③ 貴堂嘉之、「ホロコーストのなかの「アメリカ」—アメリカ優生学運動の歴史—」, 日本アメリカ学会・年次大会「歴史と記憶の制度化をめぐる」, 2007.6.10, 立教大学

[図書] (計 3 件)

① 貴堂嘉之、古矢旬・山田史郎編『権力と暴力』(共著), ミネルヴァ書房, 2007. (分担部分: 6 章「移民国家アメリカの「国民」管理の技法と「生—権力」—人種主義と優生学—, 133-154 頁)

② 貴堂嘉之、樋口映美・中條献編『歴史のなかの「アメリカ」—国民化をめぐる語りと創造』(共著), 彩流社, 2006. (分担部分: 第 1 章: 「血染めのシャツ」と人種平等の理念—共和党急進派と戦後ジャーナリズム、附論: 日米のナショナリズム・国民意識に関する研究史, 21-42, 370-394 頁, 共著者: 附論は戸邊秀明と共著)

③ 貴堂嘉之、アメリカ学会編『原典アメリカ史 社会史史料集』(共著), 岩波書店, 2006. (分担部分: 第 14 章 「国民」の境界をめぐる—国民化の「暴力」, 189-200 頁)

[産業財産権]

○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]

ホームページ

<http://www.soc.hit-u.ac.jp/~kido/index.html>